

TIC NEWS

vol. **127**
2018.4

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>



日本海学シンポジウム

平成30年2月17日、北日本新聞ホールにて「いま日本海で起こっていること」と題し、シンポジウムが開催されました。

“日本海学シンポジウム”

「いま日本海で起こっていること」

日時：平成30年2月17日(土) 13:30～16:30

場所：北日本新聞ホール

基調報告：「世界の海洋環境と日本海」

講師 レヴ・ネレティン 氏
(NOWPAP地域調整部調整官)

基調講演：「日本海とはどんな海」

講師 蒲生 俊敬 氏
(東京大学大気海洋研究所名誉教授)

パネルディスカッション：

「日本海ののぞき窓－富山湾の保全と活用－」

モデレーター 秋道 智彌 氏（山梨県富士山世界遺産センター所長、日本海学推進機構会長）

パネリスト 蒲生 俊敬 氏（東京大学大気海洋研究所名誉教授）
秦野 るり子 氏（富山国際大学現代社会学部教授）
吉田 尚郁 氏（環日本海環境協力センター主任研究員）

今回で19回目を迎えた日本海学シンポジウムでは、約150名の参加者が集まり、東京大学大気海洋研究所名誉教授の蒲生俊敬氏による基調講演、NOWPAP地域調整部調整官のレヴ・ネレティン氏による基調報告や日本海学推進機構会長の秋道智彌氏のコーディネートによるパネルディスカッションにより、日本海で起こっていること、世界の海洋環境や富山湾の活用と保全について理解を深めました。



外国人活躍セミナー

少子高齢化や人口減少が進む中、多様な文化や習慣を背景に持つ外国人を地域社会に受け入れ、日本人住民とともにその能力を活かして活躍してもらうことは、地域活性化の観点より重要であることから、外国人住民と地域社会との橋渡し役となる外国人キーパーソンを育成することを目的として実施しました。

第1回 8/27(日)「キックオフセミナー」

外国人住民が富山での活動事例を紹介

第2回 9/16(土)「もしも病気になったら？」

日本の医療・介護制度を紹介

第3回 10/14(土)「もっと聞きたい！とやまで活躍する外国人の話」

元留学生が行動力とチャレンジ精神の大切さを紹介

第4回 11/18(土)「誤解しやすい日本の常識・マナー」

日本の常識やマナーについて分かりやすく説明

第5回 12/16(土)「アレッセ高岡訪問」

外国人児童・生徒を支援しているアレッセ高岡を訪問

第6回 1/20(土)「外国人にとって理解が難しい日本語」

外国人にとって理解が難しい日本語の講義

第7回 2/17(土)「ワークショップ：富山でもっと活躍するために」

富山で困っていること、問題だと考えていることを挙げていき、それらを解決するために自分たちにできることを考えた。

セミナー全体参加者 外国人37名、日本人8名 計45名



第1回キックオフセミナーの様子

アセアン留学生受入事業

富山県は、平成27年度より、アセアン地域からの外国人留学生の受入れ拡大と定着促進を図るため、県内企業と合同で留学生の就学から就業までを一体的に支援する留学生受入モデル事業を実施しています。第1期生は今春大学院を修了し県内企業へ就職することが決まっています。今回は、第2期生として去年の秋から富山で勉強している留学生4人の皆さんをご紹介します!!



プンヤパーン サジーラット
(タイ)

留 学 先：富山大学大学院 理工学教育部
受入企業：(株)小矢部精機

私はプンヤパーン サジーラットです。タイから来ました。タイのタンマサート大学を卒業しました。学部での専門は電力システムでした。卒業後、2015年から2017年までは働いており、再生可能エネルギー、持続可能エネルギーの部署で仕事をしていました。クリーンエネルギープロジェクトのコンサルティングをしたり、新しい機械のチェックをしたり、エンジニアの研修を担当しました。

私は一度2013年に交換留学プログラムで日本に来たことがあって、また日本に留学したいと思っていました。それでこのプログラムに申し込みました。これはとてもいいチャンスだと思います。たくさん新しい日本人と知り合ったり、素晴らしい経験をもらったりしています。私は電気自動車のプロジェクトに興味があるので、富山大学の先生から専門の知識を学びたいです。将来、社会に出た時に私のプロジェクトを役立てたいと思います。

卒業後に(株)小矢部精機という会社で働きます。仕事で日本語が使えるようになるため、今、日本語の勉強も頑張っています。



ジャン ハイダー ジェモト アングレス
(フィリピン)

留 学 先：富山大学大学院 理工学教育部
受入企業：川端鐵工(株)

私はジャンです。フィリピンから来た機械工学士です。フィリピンで富山県の奨学生として選ばれ、日本で勉強する機会を得ました。私は機械知能システム工学を勉強し、富山大学の最高の教授陣とともに工学の知識を深めたいと思います。そして、機械エンジニアとして働くことでエンジニアリングのスキルと知識を発展させたいと思います。水力発電所などいろいろな種類の機械の製造工程に関わっていきたいと思います。小水力発電などは地域社会に大きく貢献できるような技術だと考えています。この2年間は富山大学での勉強に専念し、ハイブリッドソーラーや、水力発電の研究に時間を費やし、学業が修了したら、私は黒部市の川端鐵工(株)で機械エンジニアとして働く予定です。日本のエンジニアから学ぶことで自分の知識を深め続け、必要とされる所に水力発電所を設置できるようになりたいです。一生懸命働き、学ぶことで、会社の発展に貢献したいと思っています。



ダニ スッスミタ ゴレボトゥ
(インド)

留 学 先：富山大学大学院 医学薬学教育部
受入企業：ダイト(株)

皆さん、こんにちは。私はインドから来ましたダニ・スッスミタです。富山大学大学院医学薬学教育部の学生です。日本に来て7カ月になりますが、日本での生活はとても面白く幸せなものです。日本は組織的に管理され、落ち着いた環境に恵まれています。私は日本人の優しさ、気遣い、他人に敬意を払い、慎み深いところに変な感銘を受けています。私は大学院で病態生化学を勉強するためにやってきました。ガンについて研究したいと思っています。私にとって日本が、研究スキルに磨きをかけ、成功をおさめるにふさわしい舞台となることを願います。日本で新しく面白いことを追及し、人々と交流するための言語スキルを上達させるためにベストを尽くします。



ミカエラ エストラダ ジュンタド
(フィリピン)

留 学 先：富山大学大学院 医学薬学教育部
受入企業：ファーマパック(株)

私はフィリピンから来ましたミカエラです。日本に来る2年前に、セブ市のサンカルロス大学の薬学部を卒業しました。卒業後、同じ大学で臨床薬学の勉強を1年続け、マニラ市のフィリピン総合病院でインターンとして働きました。そこでHIV患者の心理社会的安定について研究しました。そのときに、研究がとても面白いものと感じました。2016年にインターンシップを終え、大学の天然物研究チームの一員となりました。この研究プロジェクトはフィリピン政府によって立ち上げられたもので、セブ固有の植物を研究し、未来の新しい薬を開発することに重点を置いたものです。

私は去年の秋の終わりが富山に来ました。それ以来、新しい経験を楽しんでいます。日本語を学び日本人や文化をより理解できるようになるのは楽しいことです。寒いですが、富山の落ち着いた冬の雰囲気は大好きです。晴れた日の北アルプスの景色を見ると喜びで満たされます。

4月には富山大学大学院の医学薬学教育部に入学します。卒業後にファーマパック(株)で仕事をするを目標に、大学の応用薬理学研究室で研究するのを楽しみにしています。私は毎日頃から、最新の技術と伝統が融合した薬学を学びたいと思っていました。なので、富山で勉強する機会を得ることができ、本当に感謝しています。私はここ富山で、薬学、そして人生について、本当にたくさんの事を学べると信じています。

日本海学を学ぶ講座

日本海学研究グループ支援事業研究成果発表会

日時：6月9日(土) 9:30~13:00

場所：県民会館704号室

日本海学に関する研究・普及活動に対し平成29年度に助成を受けた7つの個人・グループによる合同の成果発表会です。

日本海学シンポジウム

日時：2019年2月11日(月・祝) 13:30~16:30

場所：北日本新聞ホール

講師：西山 徳明 氏（北海道大学観光学高等研究センター長）

日本海学講座

第1回

日時：7月7日(土) 14:00~15:30

場所：県民会館611号室

講師：穆 堯茅 氏（(公財)環日本海経済研究所 研究主任）

第2回

日時：9月1日(土) 14:00~15:30

場所：県民会館401号室

講師：田村 正彦 氏（明治大学 兼任講師）

第3回

日時：11月24日(土) 14:00~15:30

場所：県民会館611号室

講師：小西いずみ 氏（広島大学大学院 准教授）

第4回

日時：2019年1月12日(土) 14:00~15:30

場所：高岡市立生涯学習センター 研修室503（ウィングウィング高岡内）

講師：飯田 肇 氏（富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長）

富山湾の魅力体験親子教室

*小学生3年生以上・中学生親子対象

日時：8月4日(土)、5日(日)

場所：富山湾

（富山高等専門学校実習船“若潮丸”に乗船）



【お申込み・お問合せ】

〒930-8501（住所記載は不要です）

日本海学推進機構（富山県観光振興室内）

TEL 076-444-3339

FAX 076-444-4404

E-mail adm@nihonkaigaku.org

URL <http://www.nihonkaigaku.org/>

多文化共生講座

外国人のための日本語ボランティア

日時：5月~11月予定 全5回

場所：氷見市、滑川市

日本語ボランティアスキルアップ

日時：6月16日(土) 13:30~15:30

場所：環日本海交流会館

「富山県における対話中心の日本語教室 in 県民会館」

日本語教室 in 県民会館

「生活密着型の日本語支援を目指して」

聖心女子大学 准教授

外国語の絵本よみきかせ親子の会

日時：毎月第2土曜日 10:00~11:00

（*7・8月）

場所：環日本海交流会館

外国語の絵本の読み聞かせを通して、本人親子が異文化を楽しむ講座です。

平成30年度の(公財)富山県国際交流協会の事業をご紹介します

今年度も、国際理解、国際交流、国際協力、国際協力など様々な事業を展開していきたいと考えています。詳しい事業内容については(公財)富山県国際交流協会のホームページをご覧ください。皆さんの参加を歓迎します。

外国語・外国文化を学ぶ講座

国際理解出前講座

地域の国際交流協会や、小中高校、大学等、国際協力等に関する出前講座を行います。

国際交流サロン イングリッシュ

日時：第1、第3 水曜日 19:00~21:00

第2、第4 月曜日 18:30~20:30

場所：(公財)とやま国際センター 設

県内に暮らす外国人ゲストや国際交流員、海外から来訪する外国人について英語でおしゃべりする集まりです。

とやま国際塾

日時：7月15日(日)~16日(祝) 1泊2日

場所：呉羽青少年自然の家

高校生を対象に、国際交流員、海外から来訪する外国人について国際協力、多文化共生について考え

国際交流ひろば

各国からの国際交流員を講師として

ボランティア養成講座

日本語研修会

30

日本語支援教室の紹介」

黒部 代表 家城 香織 氏

目指して」

准教授 岩田 一成 氏

会

：00 全12回

日は第1土曜、1・2月は第3土曜日)

て、外国人親子が母国の文化に親しんだり、日

。

災害時外国人支援ボランティアの養成

災害時に外国人を支援するボランティアを養成するために、多言語ややさしい日本語による情報提供の研修を行います。

市町村担当者向け災害時外国人基礎研修

災害多言語支援センターや避難所設置・運営の基礎研修とやさしい日本語研修を行います。

防災訓練への参加

大規模災害を想定して石川県、福井県と連携した災害ボランティア研修うとともに、富山県総合防災訓練にも参加します。

外国人のための防災講習会

万一の災害時に、県内在住外国人が迅速かつ適切に対応して行動できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講義とワークショップを行います。

アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン地域の国々の文化・生活習慣等を紹介する講座を開催します。平成30年度は「ベトナム」をテーマに講座を行います。(10～11月頃)

(公財)とやま国際センター ます!!

、国際協力及び多文化共生の促進のため、
と考えています。

(公財)とやま国際センターのホームページ
をお待ちしております。

“BOUSAI RADIO” 外国人のための災害情報提供

防災意識の啓発を目的として多言語ラジオ番組“BOUSAI RADIO”
を放送しています。

FMとやま 周波数82.7MHz

毎月第1土曜日 21:55～22:00 やさしい日本語、中国語
第3土曜日 21:55～22:00 英語、ポルトガル語



講座

大学などに出向き、国際交流・国際理
行います。

・チャット／ナマステ・インディア

20：30 イングリッシュ・チャット

20：00 ナマステ・インディア

談話室

交流員と、文化や習慣など様々なことに
です。

2日

外技術研修員、留学生等との交流を通じ
えるセミナーです。

異文化理解等に関する講座を行います。

語学講座

講座名	開催期間	曜日	対象	定員
中国語(入門)	5／14～3／11	月	初心者	30名
中国語(初級)	5／17～3／7	木	1年程度学習された方	30名
中国語(中級)	5／15～3／5	火	2年程度学習された方	30名
韓国語(入門)	5／16～3／6	水	初心者	40名
韓国語(初級)	5／17～3／7	木	1年程度学習された方	40名
韓国語(中級)	5／14～3／11	月	2年程度学習された方	30名
ロシア語(入門)	5／15～3／5	火	初心者	15名
ポルトガル語(初級)	5／16～3／6	水	初心者等	15名

日 時：上記の期間の18：30～20：00 年間35回

場 所：(公財)とやま国際センター研修室

受講料：10,000円(テキスト代別)

“いつか世界を変える力になる”

～世界を変えてきたのは、いつの時代も、たったひとつの強い想いだ～

2018年度JICAボランティア春募集が始まります！

募集期間：平成30年4月2日(月)～5月1日(火)

JICAボランティアとは、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行なっています。開発途上国からの要請によって、職種や業務内容も様々なものがあります。

世の中を良くしたいと願うあなたのゴールではなくスタートになる2年間。ぜひ、挑戦してみてください。

詳細については、JICAボランティアサイトをご覧ください。

応募は原則ウェブ応募です。募集要項に加え、説明会の案内や活動体験談が掲載されています。



募集ボランティア 青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア（20歳～39歳対象）

シニア海外ボランティア／日系社会シニア海外ボランティア（40歳～69歳対象）

職種 農林水産、加工、土木建築、保健衛生、教育文化、社会福祉、観光・商業、スポーツなど多種

☆富山県デスクでは、個別相談を受け付けています。（9：00～17：45）

来訪の際は、事前にお問い合わせください。

【応募に関するお問い合わせ・相談窓口】

JICA富山県デスク 電話：076-464-6491 E-mail: jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp

*ウェブサイトはこちら → <http://www.jica.go.jp/volunteer/> **JICAボランティア** で検索



今回はカメルーンから届いた青年海外協力隊員 南 祐太郎 さんからの便りをご紹介します。

Bonjour(こんにちは)！

中央アフリカのカメルーンは、民族が240ほど、サバンナから熱帯雨林といった多様な気候、地形を持つことから、「アフリカの縮図」「ミニ・アフリカ」とも呼ばれています。アフリカ＝暑いというイメージがあるかもしれませんが、標高1500メートル近い村の隊員は毛布が必須。私の任地は標高700メートルで、比較的過ごしやすい期間が多いです。

私の職種はコミュニティ開発です。村の生活にどっぷり浸かり、住民と同じ目線に立って、ゆとりある生活に近づけるのが目標です。住民の大半は自給自足の農家で、現金収入はわずか。収入向上と生活改善を目指し、スーパーフードと呼ばれる栄養価の高い「モリンガ」の苗を一緒に育てたり、キノコ栽培やソーラーランプの普及を進めたりしています。

鶏の目覚ましで起床、井戸の水汲みから始まり、夜は停電で暗闇に。苦労も多いですが、空一面の星空を眺めながらビールをゴクリと、楽しみを見つけながら過ごしています。



南 祐太郎さん

派遣国：カメルーン

職種：コミュニティ開発

派遣期間：2017年3月～2019年3月

配属先：コミュニティ教育・開発センター

大江 ひとみ さん（主婦）

Q. 近況を聞かせてください。

A. 夫の仕事の都合で、昨年からオハイオ州の州都コロンバスの郊外に住んでいます。コロンバス都市圏は人口約190万人、自動車産業が盛んで、HONDA関連の企業に勤める日本人駐在員の家族も多く住んでいます。

私たち家族が住むワージントン市は自然に恵まれた、環境の良い所です。家の近所でリスやグース（ガチョウ）をよく見かけます。気候の良い夏には、ファーマーズ・マーケット（朝市）や夕方の無料野外コンサートがあり、家族で楽しみにしています。

私は図書館に興味があるので、子どもたちが通う現地の小学校と市立図書館で図書整理ボランティアをさせてもらっています。小学校のリーディング（読書）の授業では、日本のような国語の教科書はなく、先生が読み聞かせしてくれたり、各自好きな本を読んだり、リーディング用の短い本をグループで読んだりしています。低学年では、ミステリー・リーダーとして、親が読み聞かせに登場することも（私もさせてもらいました）。また、ライブラリー（図書室）の授業も時間割に組み込まれており、本の著者を招くオーサー・ビジットや本を販売するブックフェア、懐中電灯の明かりだけでの読書など、楽しいイベントが用意されています。子どもたちを本好きにし、多くの本に出会えるようにする工夫がたくさんあることに感心しています。



小学校のブックルームでー 大江さん(中央)とボランティアの皆さん



夏、毎週日曜夕方に開かれる野外コンサートの風景

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 我が家は4人とも、富山生まれの富山育ちです。夫の勤務する会社の駐在員の家族も皆、富山出身なので、集まる時には富山の話題でしばしば盛り上がります。（特に「新鮮な生魚」や「お刺身」は禁断の話題です。ここは内陸なので、冷凍の鮭や鱈などしか買えませんから…）

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. みなさま、こんにちは！遠く離れてみると、富山は、海水浴や釣り、スキーや山登りが身近に楽しめる、自然豊かなレジャーランドのような所に思えます。帰郷して、立山連峰と桜を見ながら「富山湾寿司」を満喫するのを楽しみにしています。

平成30年度草の根国際活動助成事業募集中!!

県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成します。

【助成対象事業】

1. 国際交流事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円

- 異文化交流、異文化理解の増進に資する事業（例：国際交流フェスティバル、各種異文化交流・紹介事業）
- スポーツ・芸術・学術などの国際交流促進に関する事業（例：スポーツ大会、写真展、絵画展、演奏会、映画上映会、学術講演会）

2. 国際協力事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円

- 国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害などへの支援事業（例：災害救援チャリティコンサート）
- 開発途上国への援助・協力支援事業（例：子ども達のための絵本プロジェクト）
- 国際協力に関する県民の理解を深めるための事業（例：国際協力に関する講座など）

3. 多文化共生事業は助成対象経費の原則4分の3以内で上限は20万円

- 県内在住外国人支援事業（例：日本語教室、外国にルーツを持つ子供の学習支援など）

申請期限は5月11日までです！



борщ ボルシチ

ロシアの家庭料理といえば、この赤色のスープ“ボルシチ”を思い浮かべる人が少なくないでしょう。ネットでボルシチ論争が勃発するくらい、家庭によって作り方が違ったり、こだわりがあったりと奥の深い料理です。ボルシチの主役であるビーツは市場などでたまに見かけますが、ネットで注文したほうが確実かもしれません。サワークリームはスーパー等で買えますし、水切りヨーグルトを使ったり、ヨーグルトメーカーで自家製のものを作ってもいいかもしれません。

～作り方～

1. 骨付き肉をぶつ切りにし、水、ローリエ、塩、ブラックペッパーと共に鍋に入れ、肉が柔らかくなるまで灰汁をとりながら煮る。
2. 肉が柔らかくなったら鍋から取り出してブイヨンをこす。取り出した肉を一口サイズに切って、こした後のブイヨンに戻す。
3. ビーツ、ニンジンはいち切りにするか粗めにおろす。キャベツはいち切りにするか一口サイズに切る。タマネギはみじん切り、ジャガイモは一口サイズに乱切りにする。
4. 油をひいたフライパンでニンジン、タマネギを塩コショウで炒める。ビーツは塩コショウと酢、トマトペーストを入れて味がなじむまで弱火で炒める。
5. ブイヨンにジャガイモを入れて約5分煮る。キャベツを入れてさらに5分煮る。その後、炒めたニンジン、タマネギ、ビーツとみじん切りにしたニンニクを入れて10分弱煮込む。
6. 火をとめて、好みでパセリ、ディールを入れてよく混ぜ蓋をする。

ボルシチはすぐ食べてもいいですが、できれば一晩寝かせた方が味が沁みて美味しいです。サワークリームを入れて、ピンク色になるまで混ぜて食べること。黒パンと食べるのがロシア式です！



ロシア出身
シャーホフ・スタニスラフさん
お薦め料理！



～材料～

【ブイヨン】

骨付き牛肉 …………… 500g
塩 …………… 少々
ブラックペッパー
(ホール) …………… 少々
水 …………… 1.5リットル
ローリエ …………… 数枚

【具】

ビーツ …………… 1個
ニンジン …………… 1個
タマネギ …………… 1個
ジャガイモ …………… 2個
キャベツ …………… 1/4個
ニンニク …………… 少々
パセリ …………… 少々
ディール …………… 少々
塩コショウ …………… 少々
サワークリーム …………… 少々

TICからのお知らせ

外国人のための生活相談

県内在住外国人が母国語で相談できるように相談員を配置しています。電話通訳サポート(トリオフォン)もご利用ください!!

曜日	言語	時間	場所
月	韓国語	13:00～17:00	(公財)とやま国際センター TEL076-444-2500
	テルグ語	13:00～17:00	
火	ロシア語	13:00～17:00	
	中国語	13:00～17:00	
水	ポルトガル語	13:00～17:00	
	英語	13:00～17:00	
木	ポルトガル語	12:30～16:30	
	中国語	13:00～17:00	
金	ポルトガル語	12:30～16:30	

電話通訳サポート

外国人の方が直接専門機関との相談をご希望される場合、電話通訳サポートをご利用できます。三者通話機を使い相談員が通訳をします。

電話通訳サポート専用ダイヤル

076-441-5654



TICメールマガジン配信します!

とやま国際センターから、定期的にお届けする“TICメールマガジン”。6カ国語(日本語・英語・中国語・ポルトガル語・ロシア語・韓国語)で配信するパソコン、スマートフォン向けのメール情報サービスです。

とやま国際センターの主催イベントや講座の最新情報はもちろん、外国人向けの相談窓口のご案内など暮らしに役立つ生活情報、災害についての備え、緊急時の対処法などの防災情報、また、県内のイベント情報など楽しい内容を盛り込んでご案内しています!

興味のある方は、ぜひ“TICメールマガジン”にご登録ください。

メールマガジンの配信をご希望される方は、とやま国際センターのホームページから無料で簡単にご登録いただけます。

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp/>

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るためのご寄付についてもよろしくお願い申し上げます。